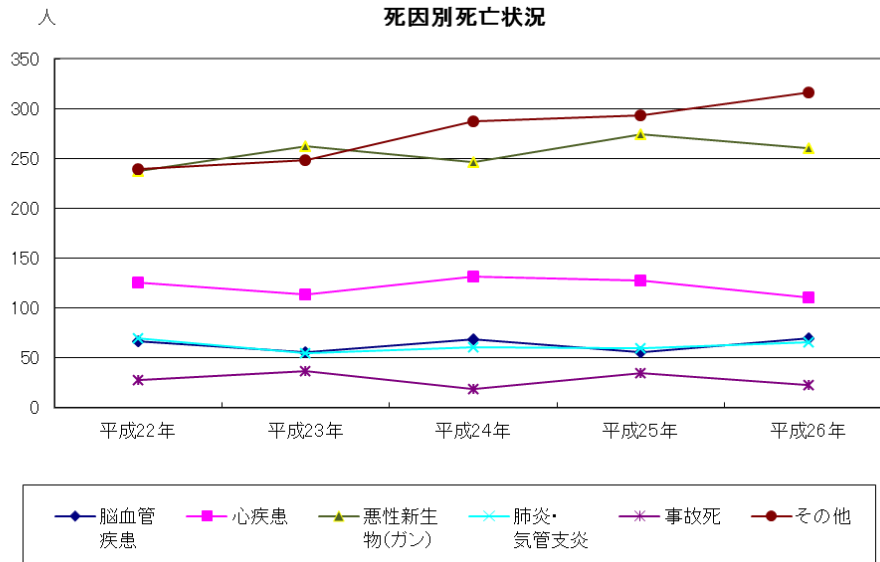


11. 健康・保険

①市民の健康づくり

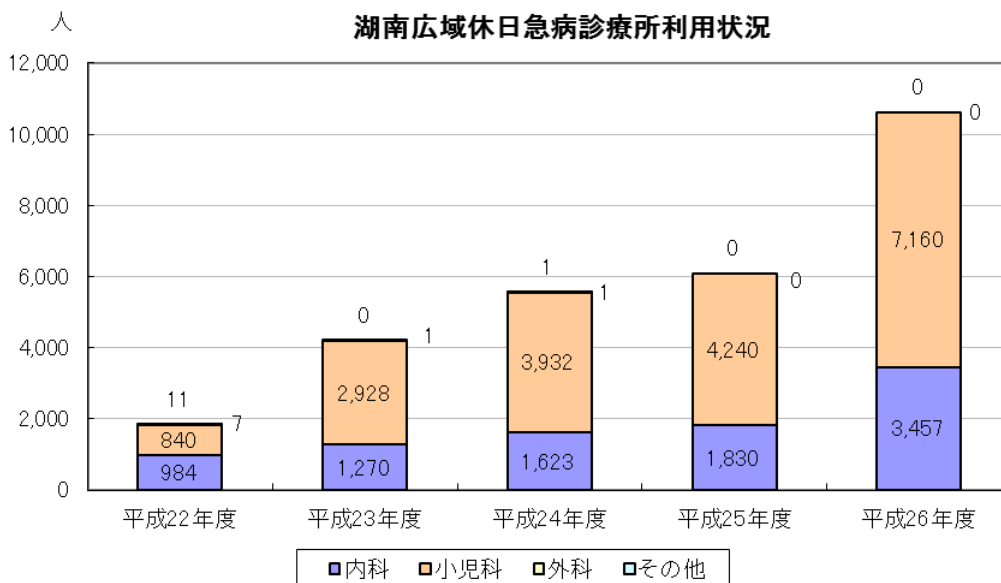
■死因別死亡状況



※各年 1～12 月届出分
資料: 南部健康福祉事務所(草津保健所)(統計書)

■湖南広域休日急病診療所利用状況

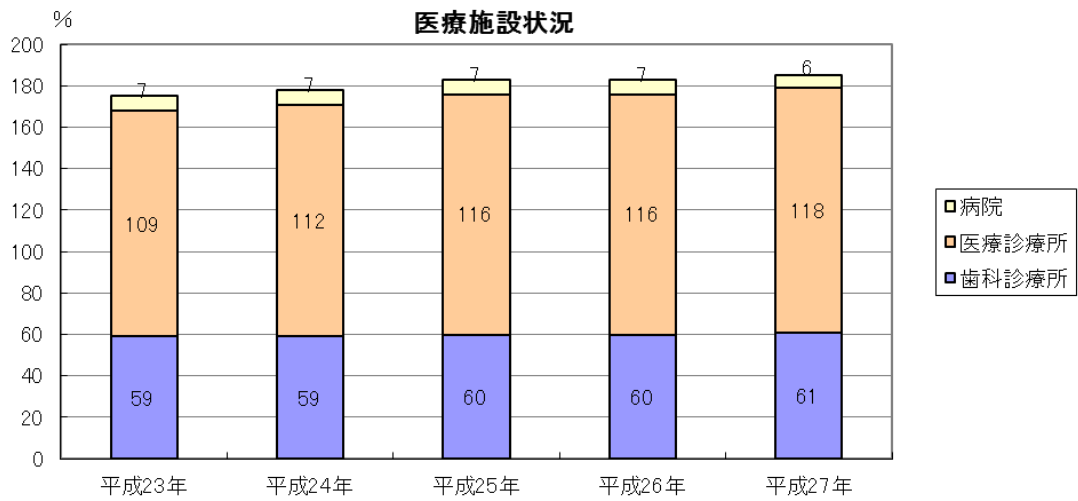
- 平成 26 年度は、内科 3,457 件、小児科 7,160 件、外科 0 件、その他 0 件となっています。



資料: 健康増進課

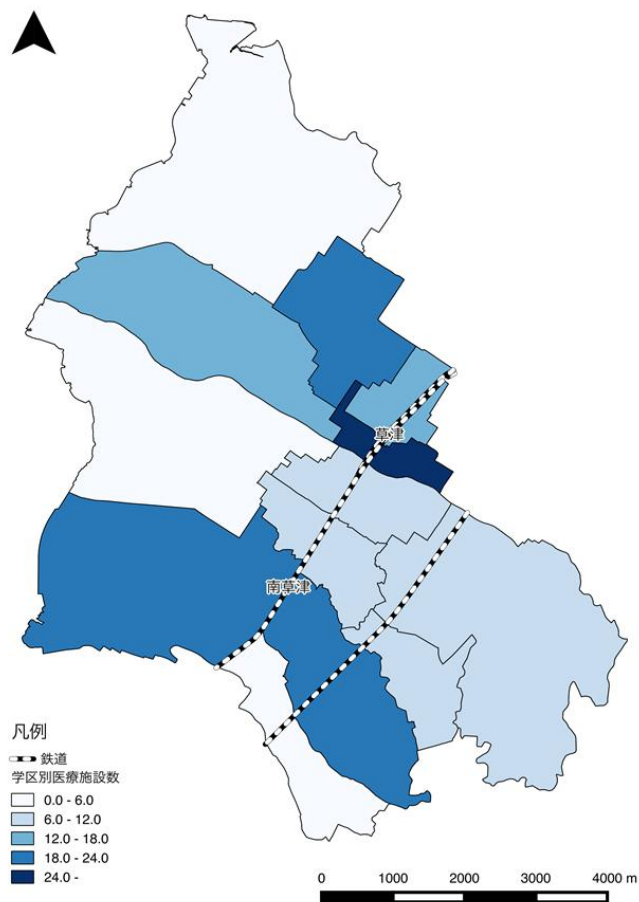
■医療施設状況

- 市内には、医療診療所が118件、病院が6件、歯科診療所が61件あります。



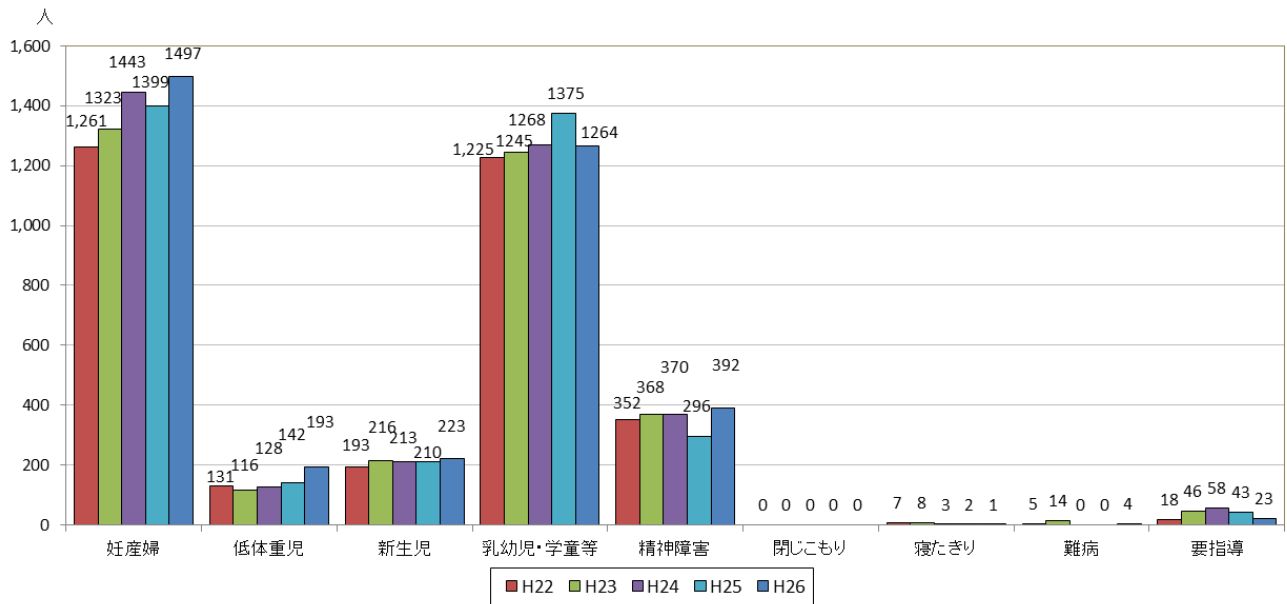
資料：健康増進課

学区別医療施設数



資料：南部健康福祉事務所(草津保健所)
地図作成：草津未来研究所

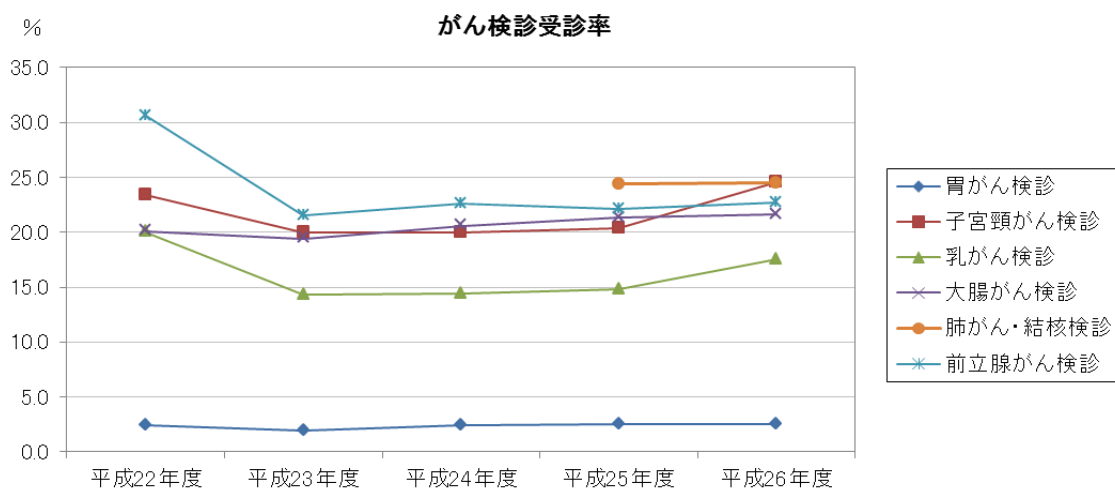
■訪問指導



資料：健康増進課

■がん検診受診率

・「肺がん・結核検診」が平成25年度から始まりました。

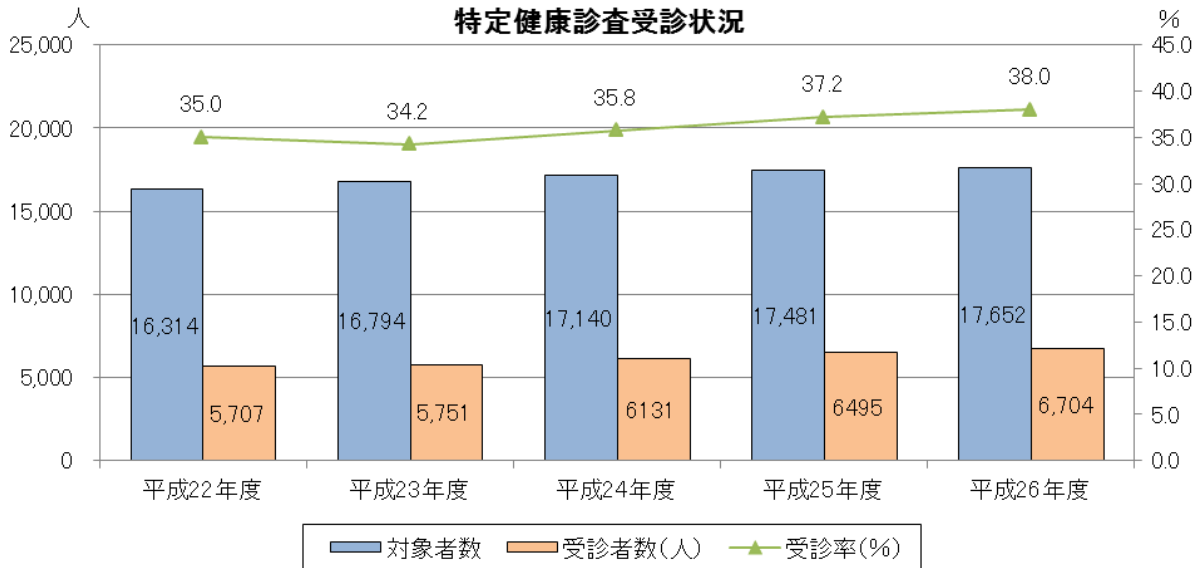


資料：健康増進課

②医療保険制度の適正運用

■特定健康診査受診状況

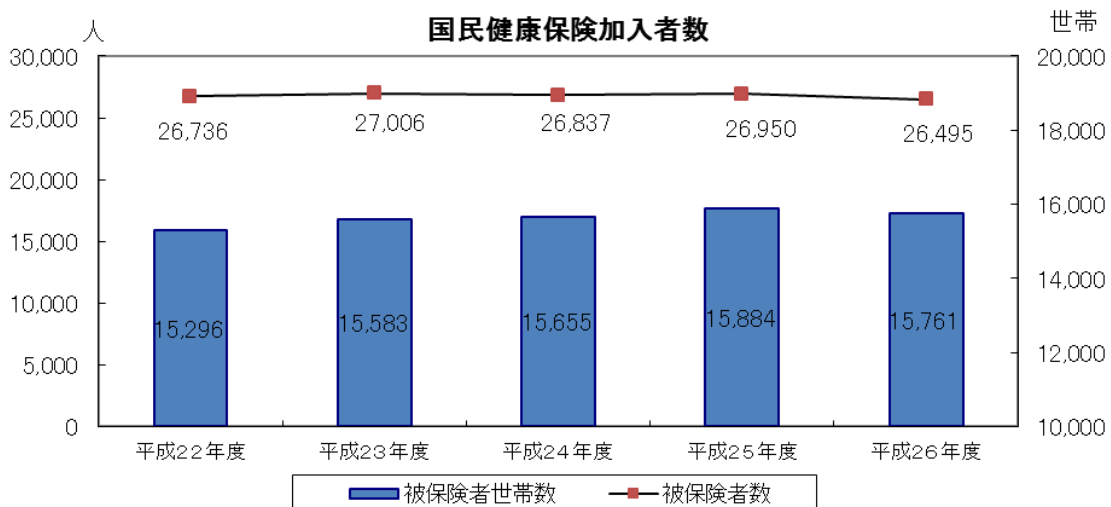
- 平成20年4月から、40歳から74歳の市国民健康保険被保険者に対し、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した特定健診・特定保健指導を実施しています。
- 生活習慣病の予防や早期発見、改善を図るとともに将来の医療費の増加を抑制することを目的としています。
- 平成20年度から平成26年度までの特定健診受診率は34～39%の間で推移している状況で、受診率を向上させるため、電話や文書による受診勧奨を実施しています。



資料:保険年金課

■国民健康保険被保険者数

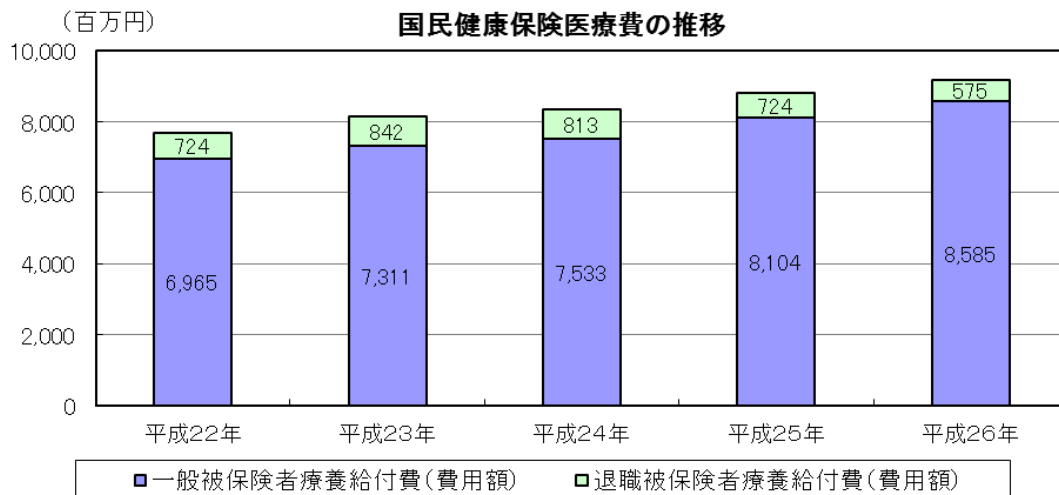
- 平成26年度の国民健康保険被保険者数は26,495人となっています。
- 滞納対策として、個別の訪問徴収や資格関係の適正化、所得の未申告者に対する申告要請など、安定した保険運営に努めています。



資料:保険年金課(統計書)

■国民健康保険医療費の推移

- 平成 26 年度の国民健康保険医療費は 9,160 百万円となっています。



■後期高齢者医療制度加入者および医療費の推移

- 75 歳以上の方は満 75 歳の誕生日から後期高齢者医療制度の被保険者となります（それまで加入していた国民健康保険・職場の健康保険などは、誕生日の前日で脱退となります）。
- また、65 歳から 74 歳で一定の障害がある方は、自ら選択することにより後期高齢者医療制度に加入できます。
- 後期高齢者医療制度は、滋賀県内全市町で構成する「滋賀県後期高齢者医療広域連合」が運営主体であり、市は被保険者証の引渡しや保険料の徴収、申請や届出の受付を行います。

(単位:人)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
市の被保険者数(年度平均)	8,964	9,402	9,859	10,283	10,598
県全体の被保険者数(年度平均)	142,449	146,439	150,342	153,211	155,290

(単位:円)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
市の療養給付費(費用額)	8,509,421,348	9,124,295,522	9,357,840,012	9,891,960,396	10,102,118,984
県全体の療養給付費(費用額)	125,388,743,158	130,730,710,934	134,195,040,636	138,932,657,006	141,344,266,354

【その他の取組み等】

- 医療費の自己負担分を助成し医療にかかる経済的負担の軽減を図る福祉医療費助成を行っています。受給対象者の増加にともない、福祉医療費助成金額は全体として年々増加しています。
- 平成 26 年 2 月に策定した「健康くさつ 2 1 (第 2 次)」に基づき、「誰もが健康で長生きできるまち草津～健康寿命の延伸と健康格差の縮小～」の実現をめざして、まちぐるみで市民の健康づくり運動を推進しています。